

令和4年度 第5回佐倉市オーガニックビレッジ検討部会 概要

1. 日時：令和5年3月17日（金） 10時00分～11時20分
2. 場所：佐倉市役所議会棟2階 第3委員会室
3. 出席者：農業者2名、事業者2名、消費者2名、JA1名、
千葉県2名、佐倉市2名、事務局5名
オブザーバー：NPO法人民間稲作研究所1名
関東農政局千葉県拠点3名、
国営印旛沼二期農業水利事務所1名

4. 概要：

○ポイント

- ・佐倉市有機農業実施計画について、市民意見公募の結果報告が行われた。
- ・令和5年度 of 取組方針とスケジュールに関する報告が行われた。
- ・来年度は、「佐倉市オーガニック推進部会」と名称を変更し、第1回を令和5年5月に開催予定。

(1) 議事

①議事第1号 佐倉市有機農業実施計画について

(1) 佐倉市有機農業実施計画について

佐倉市有機農業実施計画に関するこれまでの経過及び今後の流れと計画の概要について、事務局から資料に沿って説明を行った。主な質問は以下のとおり。

(質問) 有機JASの取得者数が目標にないのはなぜか。

(回答) 有機JASを取得するか否かは個々人の判断によるところが大きく、無理に取得を勧めるつもりはないことから、目標には入れていない。

ただし、市内流通においては有機農産物と同等の取り扱いができるような仕組みづくりを検討している。

(2) 市民意見公募結果について

令和5年2月24日（金）から令和5年3月10日（金）まで行われた市民意見公募の結果について、意見を参考に案を修正した1件とその他の主だった意見に関して、事務局から資料に沿って説明を行った。主な意見は以下のとおり。

(意見) イベント（研修）について、土日祝日の開催であってもなかなか参加が難しい場合があるので、可能であればオンラインでの参加やアーカイブを残すことでいつでも視聴できるような形にしてもらえるとありがたい。

(回答) より多くの方に参加をしていただけるよう検討していく。

②議事第2号 令和5年度取組(案)について

(1) 令和5年度取組方針(案)

令和5年度の大まかなスケジュールのほか、名称変更後の部会の体制や有機農業の前段として取り組める環境にやさしい農業の候補について、事務局から資料に沿って説明を行った。主な意見は以下のとおり。

(意見) みどりの食料システム戦略の主なテーマの一つは「脱炭素」であり、バイオ炭の取組はテーマに合致したものであるため、ぜひ進めてほしい。

また、有機農家数を増やすのとは別に、大多数を占める慣行農家にも一緒に取り組んでもらえることをやった方が費用対効果も大きい。有機か慣行かを問わずに取り組めるバイオ炭がまさに適している。

(回答) ご指摘のとおり、大多数を占める慣行農家にアプローチするのは良いと思う。市全域でバイオ炭等環境にやさしい農業を広げていくことを見据えて、次年度、まずはモデル的な実施と手間などに関する意見聴取を行えばと考えている。

(2) その他

○オブザーバーとして参加したNPO法人民間稲作研究所から、今年度の取組に関する感想や来年度の研修案について説明があった。

○また、事務局から、3月26日(日)に市民音楽ホールにおいて開催される「佐倉市有機農業セミナー」について案内を行った。

(以上)